

患者こそ 医療の主人公

～医療事故調査制度10年を前に～

医療
過誤
原告の会

2024年5月発行 会報45号

医療過誤原告の会〈講演会〉

医療事故調査制度発足8年 患者のための医療を！

主催●医療過誤原告の会

共催●医療の良心を守る市民の会

後援●患者の視点で医療安全を考える連絡協議会

日時●2023年12月10日（日） 13:30～16:30

会場●全水道会館（4F大会議室）

■会報45号を発刊にあたって 宮脇正和（医療過誤原告の会 会長）……………1

医療過誤原告の会〈講演会〉

医療事故調査制度発足8年 患者のための医療を！

■〈講演Ⅰ〉自分のいのちは自分が決める〜89歳のパイオニアが語る……………3

木村利人（早稲田大学名誉教授、バイオエシックス（生命倫理）学者）

講師紹介・鈴木利廣（弁護士）

■〈講演Ⅱ〉患者中心の医療の理念……………20

高本真一（日本、心臓血管外科学会名誉会長、東京大学医学部名誉教授 賛育会病院院長）

講師紹介・永井裕之（患者の視点で医療安全を考える連絡協議会代表）

■閉会挨拶 阪本則子（医療過誤原告の会 幹事）……………29

医療過誤原告の会 会員からの報告……………32

四日市の3大病院の訪問を終えて 阪本則子（三重）

9月17日世界患者安全の日のオレンジ色フライトアップを広げる活動 雨宮萬里子（東京）

介護老人保健施設に入所中、適切な医療を受けられずに亡くなった父 亀中節子（山口）

母の無念を引き継ぎ、尊厳を守る為に… 上床 佐登美（大阪）

今後の医療事故調査制度について 川村紀夫（消化器内科医）

■群馬大学医学部附属病院見学ツアー報告……………48

■医療事故調査制度改善に向けて……………50

■医療過誤原告の会 活動報告……………52

第33期役員